

短 報

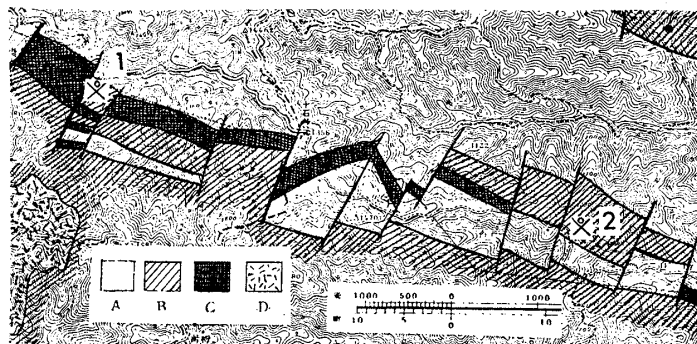
藤原 肇*: 関東山地西北部より *Chaetetes* の発見

筆者は、現在卒業論文作成の為、関東山地に広く発達している古生層と、所謂山中地溝帯白堊紀層の地質構造上の関係を調査しているが、その際、*Chaetetes* sp. を含む石灰岩を2カ所に亘って採取したので報告する。

採取地点は、1:長野県南佐久群佐久町大日向ボーメキ沢(抜井川本流との出合より南方約0.5kmの左岸崖)と、2:群馬県多野郡上野村白坂山山腹(十石峠より東方約3.5kmの標高1342.6mの山)である。

前者は蛇紋岩に接して、著しくもめた輝緑凝灰岩層中の石灰岩体であり、後者は割合大きな山体を形成している石灰岩と、その産出状態は異っているが、然し共に山中地溝帯に沿ってその南縁に可成広範囲に分布している一連の古生層中の石灰岩のメンバーであると考えられる。

これらの石灰岩からは、従来詳しい化石報告が無い為、時代論的考察がおこなわれないうままになっているが、一応今般採取し得た前記化石から考えると、これらが共に後期石炭紀 *Moscovian* の地層であると云え



山中地溝帯西部地域南縁の地質図

A: 中生層, B: 古生層, C: 蛇紋岩, D: 安山岩

る。

標本は埼玉大学文理学部地学教室に保管されており、また化石の鑑定には、大久保雅弘・佐藤敏彦の両氏をわずらわせた。

なお、図示した地層の境界線は、筆者の資料の他、矢部之男氏の未公表の地質図を参考にした。

(1962, 12, 19)

* 埼玉大学文理学部地学教室
地質学雑誌 第69巻 第816号 1963年9月

弘原海清*・清水大吉郎**：兵庫県で発見された上部三畳系

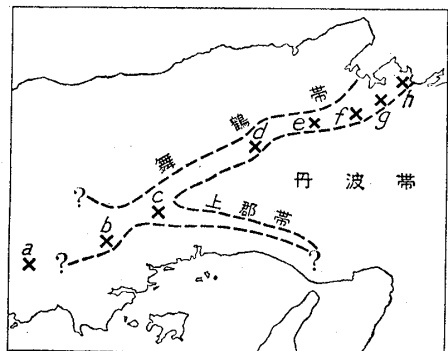
舞鶴地帯の一つの主要なメンバーである上部三畳系(カーニアン・難波江層群)は福井県難波江(h), 京都府舞鶴付近(g・f), 夜久野(e), 岡山県福本(c), 金川(b)と共和(a)に分布しているが、兵庫県下には知られていなかった。著者の一人弘原海は兵庫県穴栗郡一宮町(旧繁盛村)千町(d)で上部三畳系化石を発見し、清水とともに同地を調査したの

で、ここに簡単に報告する。

化石については京都大学中沢圭二教授と大阪市立大学市川浩一郎助教授、夜久野岩類については秋田大学加納博助教授に御教示いただいたことを厚く感謝する。

この地域は明延鉦山の9km南方で、三方地区の東にあたる。五万分の一の地質図「大屋市場」・兵庫県地質図には夜久野岩類にはさまれた古生層の分布が記されている。石英粗面岩が両者をおおっている。

1. 上部三畳系はおもに青灰色の中～粗粒砂岩で、うすい黒色頁岩をはさむ。砂岩は塊状のサブグレイワックで、チャート・石英斑岩・砂岩・頁岩などの円～亜円細礫ときに中礫をまじえることがある。礫はとくに砂岩層の下位に多い。化石は次のものが砂岩にはさまれるシルト質頁岩に含まれる。*Minetrigonia hegi-*



第1図 舞鶴地帯と上部三畳系(カーニアン)の分布

* 姫路工業大学地学研究室
** 京都大学理学部地質学鉱物学教室
地質学雑誌 第69巻 第816号 1963年9月